

今をときめく まちのあの人に 会いに行く vol. 8

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

12月号では、海田町に本社を置く株式会社西井製作所代表取締役社長の西井 裕昭さんにお話を伺いました。海田町のふるさと納税返礼品にも用いられている『伊久馬』を製作する同社。ものづくりにかける思いや海田町にかける思いを聞かせてもらいました。

西井 裕昭さん

株式会社西井製作所 代表取締役社長

技術つながるものづくり ひとつづくりも大事にして

大 正7年、広島市の段原町にて産声をあげた「西井伊久馬商店」が私たちの会社の始まりです。当時は自転車の鑑札やキセル掃除機などを手掛け、金属を叩いたり曲げる技術を得て戦時へ。魚雷の開発に携わり、金属を削る技術が向上したと聞いています。その後、金属加工から仏壇の金具を扱うようになり、日本で初めてプレス機による仏壇金具の量産化に成功します。

はずみをつけた会社は、精密金型や航空機のエンジン部品など、開発製作の範囲を広げていきました。現在はナンバープレートや航空機のエンジン部品を中心に半導体分野にも対応するなど、仕事内容は多岐にわたります。

私たちの会社で大切にしているのは、「経営」と「ビジネス」の両輪。「ビジネス」では当然、売り上げを得るための技術研鑽や品質保持などを大事にします。もう一方の「経営」は、「どんな会社になりたいか」という部分。西井製作所ではものづくりをしながら、それと同じくらい「ひとつづくり」に心を砕いてきました。良き人が良き会社をつくり、それがひいては良き地域、良き暮らしをつくると考えているからです。



Profile

にしい・ひろあき／高い技術力と開発力で業界をリードする『株式会社西井製作所』代表取締役社長。社員のみならず、その家族も大切にする経営手腕で会社を率いる。ワークライフバランスを軸にした学校行事に係る休暇など、福利厚生を充実させ社員からの信頼も厚い。趣味はアウトドア。